

原 強 プ 第 9 号
平成26年10月30日

島根県知事 溝口善兵衛様

中国電力株式会社
取締役副社長
原子力強化プロジェクト長
小野雅樹

島根原子力発電所における保守管理の不備等に関する
再発防止対策の進捗状況について（報告）

平成26年10月10日に開催された、第11回原子力安全文化有識者会議の議事概要について、平成22年3月30日付け消防第2738号および平成22年10月19日付け消防第1054号の申し入れに基づき、添付資料のとおりご報告いたします。

添付資料

第11回原子力安全文化有識者会議の議事概要について

以上

第11回原子力安全文化有識者会議の議事概要について

- 開催日時 平成26年10月10日(金) 9時30分～12時00分
- 開催場所 ホテル白鳥 鳳凰の間(島根県松江市千鳥町20)
- 出席者 [社外委員] 梅林委員, 亀城委員, 高尾委員, 高橋委員, 豊田委員, 野津委員, 山浦委員
[社内委員] 小野原子力強化プロジェクト長, 清水副社長

○ 議事内容

1. 開会あいさつ(小野幹事)

- ・点検不備問題が発生してから4年以上が経過し, この有識者会議も今回で11回目となる。
- ・これまでの間, 委員の皆さまには, それぞれの専門分野からさまざまなご意見・ご提言をいただいた。当社は, 二度と同様の問題を起こさないという強い決意のもと, いただいたご意見を反映しながら今日まで取り組んできたが, 継続して取り組まなければならない課題であるので, 今後もしっかり取り組んでいきたい。
- ・昨年7月には, 特別な保安検査体制から通常の保安検査体制に移行され, 国から一定の評価をいただいたものと受け止めているが, 皆さまから安心していただける発電所とするため, 引き続き原子力安全文化醸成を推進する取り組みを継続していかなければならない。
- ・新たな視点で継続的に実施していくことが重要と考えており, 平成25年度末の第10回を区切りに, 本日もお集まりいただいている新しい委員の方々による体制に見直しをさせていただいた。
- ・本日は, 平成26年度再発防止対策および原子力安全文化醸成活動の実施状況について報告するので委員の皆さまからのご意見をいただきたい。
- ・また, 昨年12月25日に申請を行った, 島根原子力発電所2号機新規規制基準への適合性審査状況について情報提供させていただく。

2. 座長選任

委員の互選により豊田委員が座長として選任された。

3. 議事

資料に基づき, 電源事業本部部長 本田および原子力強化プロジェクト部長 千葉から「平成26年度再発防止対策および原子力安全文化醸成活動の実施状況について」を説明し, 電源事業本部専任部長 山本から「島根原子力発電所2号機新規規制基準への適合性審査状況について」を情報提供した。

豊田座長の司会のもと, 議事進行が行われた。主な意見は, 以下のとおり。

(1) 平成26年度再発防止対策および原子力安全文化醸成活動の実施状況について

- ・話し合い研修のテーマに他社事例があるが, 電力他社の事故事例の方が, 現実に即した議論ができるのではないか。
- ・平成22年の点検不備問題が明るみに出て, 4年の歳月が経ったが, 再発防止策が着実に実施され, 定着していると評価している。
- ・行動基準について, 点検不備問題発覚当時と現在とを比較して, 目標の内容に変化はあるか。今後検証をお願いしたい。
- ・協力会社から多くの不適合情報が提供されており, 「報告する文化」の醸成については一定の成果が出ているものと評価している。

- ・さまざまな職位のメンバーを交えての座学（話し合い研修等）や経営層との意見交換を行っており、風通しはよくなっていると感じる。
- ・点検不備問題の発生から4年が経過しているが、問題発生後に入社した多くの社員に対しても、しっかりと継承できるよう取り組みをお願いしたい。
- ・地域の不安払拭についてはハードルが高いということを、常に意識付けしてほしい。福島第一原子力発電所の事故以降、原子力発電に対する国民の目は厳しくなった。中国電力は点検不備があったということをふまえて、再スタートしている、というくらいの謙虚な姿勢で取り組み続けてほしい。
- ・再発防止に向けたシステム強化と点検不備の教訓を伝えていくという2本の柱について説明があったが、そのいずれも十分な水準に達しているかどうか、外部の人間にとっては評価が難しい。評価ができるものであれば、その点について説明してほしい。
- ・点検不備問題を契機に発電所の技術系社員と地域で顔を合わせるようになり、この人達がやっているのなら大丈夫だと思える。逆に、技術系社員の皆さんは、地域の皆さんと話をし、言ったことは責任を持ってやらないといけないと感じるのではないか。このような相乗効果を感じている。引き続き地域との関わりは大事にしてほしい。

(2) 島根原子力発電所2号機新規規制基準への適合性審査状況について

島根原子力発電所2号機新規規制基準への適合性審査状況について情報提供し、質疑を行った。

4. 閉会あいさつ（小野幹事）

活発な議論に対して感謝の意を表すとともに、有識者委員からの提言を今後の活動に反映する旨について述べた。

以上